



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページにバックナンバー掲載中

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

12月号 DEC 2020

<http://www.maruto-shoji.co.jp>

2020年もご愛顧賜りありがとうございました 2021年も変わらぬご指導 よろしくお願い致します



2020年もあと1カ月となりました。皆様にとってどのような年となったでしょうか。

12月1日に、その年話題になった新語・流行語を決定する年末恒例の『2020 ユーキャン新語・流行語大賞』が発表されました。年間の大賞には『3密』が選ばれました。トップ10に入ってくるワードはやはり新型コロナに関連したものが多かったように思います。大賞の3密は厚生労働省などが呼び掛けた新型コロナウィルスの感染防止を目的とする新しい習慣を端的に表す言葉として広まりました。東京都知事の小池百合子氏が会見で「密です!」とおっしゃられていたことから広がりしました。

2020年の始まりは、日本中が、東京オリンピックを控えて、景気が大きく拡大していく期待にワクワクしていました。私もこのマルト便1月号で新年のご挨拶に書かせて頂いています。まさかこの時に、東京オリンピックが開催されないなど、誰が想像できたでしょうか。

今年の流行語大賞に代表されるように、まさに新型コロナの影響を世界中が受け、いやおうなしに新しい生活スタイルへ移行せざるをえない、ある意味変革の一年であったと思います。

玉葱の業界においても色々あった一年ではありました。19年北海道産豊作の影響により、例年であれば3月で終了する道産玉葱が青果向けで6月まで販売されていたり、5月には佐賀県で1万トンもの出荷調整が行われたり、オリンピック需要が無くなって、コロナの影響もあり、消費が滞っているはずなのに、7月後半から8月にかけて過去例がないほど、玉葱が品薄になったり。玉葱の需給は非常に不安定で推移を読むことが非常に難しい年であったと思います。

消費動向としては、コロナの影響により、7月頃までは外出自粛等の影響で家庭内消費が増大した一方、業務向けが大打撃を受けるなど環境の変化も大きい一年でした。そして外部環境は新しい生活様式に合わせて今後も大きく変化していくものと思います。

現時点での北海道産は昨年同様豊作型で推移をしています。しかしながら、年明けについては昨期のように物があまるようなことはなさそうです。見込としては年内である程度出荷見通しがつき、年明けの北海道産はある程度予想の範囲内での流通となるように思っています。

コロナ禍において、産地の情報を得ることがなかなか難しい状況となっているように感じます。マルト商事ではこれまでの産地様との取組を活かし、必要情報を随時取得しながら、より良い商品とともに提供して参ります。

2020年。誰しもにとって激動の一年となったと思います。その中でもこのように商売を続けさせていただけること、本当にありがたいです。心から、当社を支えて頂いております全ての皆様に感謝申し上げます。

弊社におきましても「関わる人をHAPPYに」という理念に基づき、このご恩をお返しできるように、そして共に発展していけるように努めて参ります。

本年もご愛顧賜り、誠にありがとうございました。来年も変わらずご指導賜りますよう宜しくお願い致します。

“食”の分野で役立つマーケティング情報

寒い季節になってきましたが、冬の訪れとともに新型コロナウイルスの感染がまた勢いを増してきています。一時はおさまるのかなとどう淡い期待感もあり『GOTOトラベル』を利用していろいろかけていましたが、東京の飲食業も時短営業を再び強いられるなど、先行きが見えない不安な空気が広がってきています。

経済もこの先どうなるんだろうと考えたりもしますが、このような新型コロナウイルス下でも成長している未上場のスタートアップ企業、その価値が100億円冒序の企業が80社と昨年から3割増えたという記事を目にしました。宇宙開発や従来からある産業のデジタル化など一部の企業に人気が集まっているらしいですが、どんな業種の企業が新型コロナウイルス下でも成長をしているのかと読んでみると、その中に“低所得者向け自動車購入支援”という名前の事業内容が目にとまりました。社会貢献の活動のようで面白そうだと思います。

事業を展開しているのは『グローバルモビリティーズ』という会社で東京都港区に本社があります。「真面目に働く人が正しく評価される仕組みを創造する」をビジョンに掲げ、世界の貧困/低所得層 約17億人の信用創造を行う、いま話題の金融とテクノロジーを結びつけたフィンテックのサービスを提供しています。自動車の遠隔起動制御技術を搭載したデバイスで収集した車両データ（走行状況、速度等）と金融機関と連携して取得した金融データ（支払い状況等）を分析することで、ドライバーの信用力を可視化して、従来の与信審査には通過できなかった人へ、ローンやリースなどの金融サービスを提供するそうです。

こういう発想でビジネスとして「貧困」などの社会の課題を解決しようとするアイデアはとても興味深いです。デジタル通信技術が発展して社会インフラの一部となっただけからこそ、できる事業内容だと思います。調べてみると、海外でも似たような事業が生まれています。フィリピンでは『インベスト・エド』という企業が、生活苦の大学生に10万ペソ（約20万円）を融資し、卒業後に返済してもらうビジネスを展開しています。融資した約500人で貸し倒れは、ほぼゼロだそうです。信用力を分析する独自のアルゴリズムを開発し、学生の家計収支や申請書類の情報をもとに将来の就職先や将来収入を予測し、返済能力を測るのだそうです。他にもベトナムでは『グリメディア』という会社が自国の貧困克服を目的に、通信会社と連携し、登録農家にSNSで気象や病害虫などの情報を無料提供するビジネスを展開しています。

新型コロナウイルスが再び広がっているニュースばかりを目にしますが、この危機が新しい社会や経済を作るきっかけになるかもしれないと思うと、すこし元気になれるそうです。



木下康司 きのしたこうじ
1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。
デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組み続けている。
<http://www.kino-company.com>

12月 玉葱商品産地情報

産地		状況
国産黄玉葱	北海道	産地状況は良好です。品位も安定している状態です。感謝！
輸入黄玉葱	USA	—
中国剥き玉葱	甘肅省	品位にバラツキがあります。価格もやや高めでの推移です。
国産赤玉葱	北海道	若干品位ばらつきがあります。加工に注意します。
輸入赤玉葱	USA	—

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315